

議決権行使レポート

証券コード 6937

会社名 古河電池株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役9名選任の件			
小野 眞一 氏		○	
千葉 徹 氏	○		
田口 仁 氏	○		
河合 哲也 氏	○		
清水 信明 氏	○		
江口 直也 氏	○		
飯村 北 氏	○		
佐藤 達郎 氏	○		
中嶋 章文 氏	○		

上記の推奨をした理由

・第1号議案について

過去年度に比べて1株当たりの当期純利益が大きく低下している。この要因としてロシアによるウクライナ侵攻の影響で、鉛等の金属資源原材料および天然資源の価格が高騰したことがある。これにより仕入れ、生産、輸送の各過程において費用がかさみ、向上している営業売上高以上の影響を及ぼしたことで営業利益が減少したと考えられる。実際に利益率の変化を見ると、自己資本当期純利益率・売上高営業利益率ともに2021年度をピークに減少に転じており、ロシアによるウクライナ侵攻開始が22/2/24であることから考えても大きな要因であると推測される。このことから純利益の減少はやむを得ないものであり、承認にあたって特段の問題はないと考えられる。

・第2号議案について

前項でも述べたとおり、当期純利益の減少はロシアのウクライナ侵攻に起因するものと考えられ、輸入材料や多くのエネルギーを必要とする事業の性質上その影響が大きく出ている可能性が高い。このことを念頭にISSの各基準を確認していく。

①資本生産性が低く、且つ改善が見込めない場合

→ROEは昨年度のみ基準値である5%を割り込んでいるが、先述の通り経営陣の責任は部分的であり、この点は当たらない。

②政策保有株式の所有率が過度に高い場合

→自己株式は株式全体の0.07%であり、この点は当たらない。

③社外取締役の割合が低い場合

→社外取締役は基準とされる1/3確保されており、この点は当たらない。

④取締役会における女性の存在

→監査役に女性がいないものの取締役会には女性がおらず、この点は是正が必要である。男女の共同参画が進む現代において女性の存在を求めるため、代表取締役社長である小野氏の再任には反対する。

⑤社外取締役の独立性

→取締役はいずれも直接の利害関係がなく、この点は当たらない。

⑥取締役の取締役会出席率

→最低でも16/17回出席しており、この点は当たらない。

また、各取締役の経歴を見ると再任の8名はいずれも古河電池や他社で要職を歴任し、その経験だけでなく多彩な環境で培った知見をお持ちだと推測される。社外取締役についてはその出身や現所属を見ても独立性を維持できていると思われ、取締役就任にあたって先述の点を除いて懸念点はない。新任の黒田氏は過去の業務経験や専門分野から見ると取締役の業務遂行に適した人物であると考えられる。全体として見ても法務から生産、経営戦略、営業、コーポレートガバナンスなど幅広い分野に長けた人物がおり、経営陣の構成としても賛同できる。

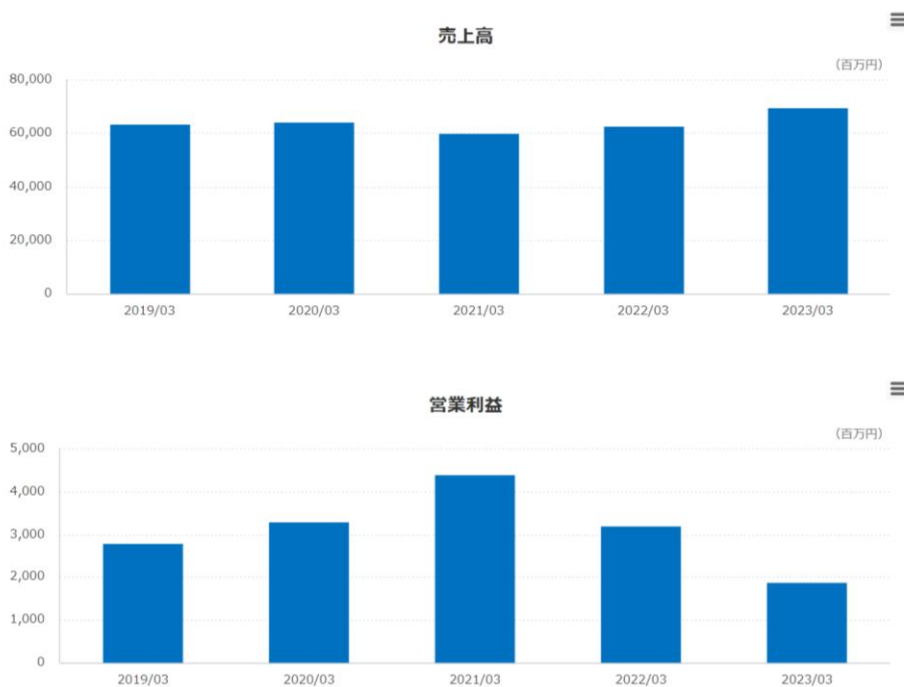


図1 過去5年間の売上高・営業利益の推移

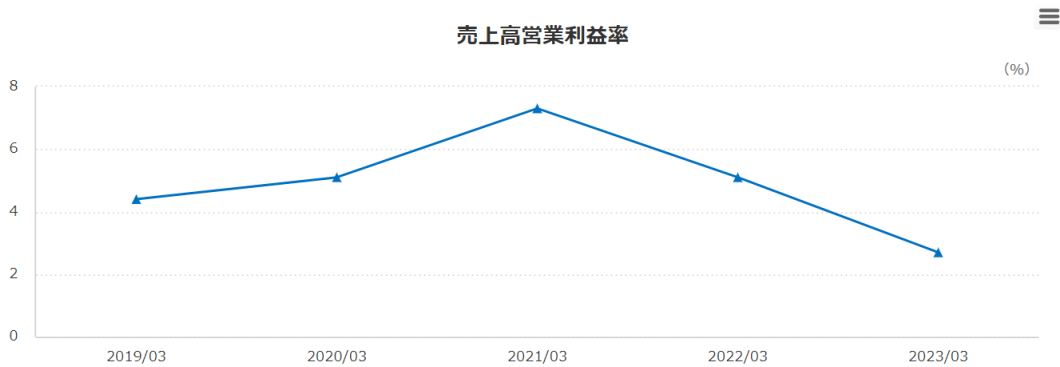
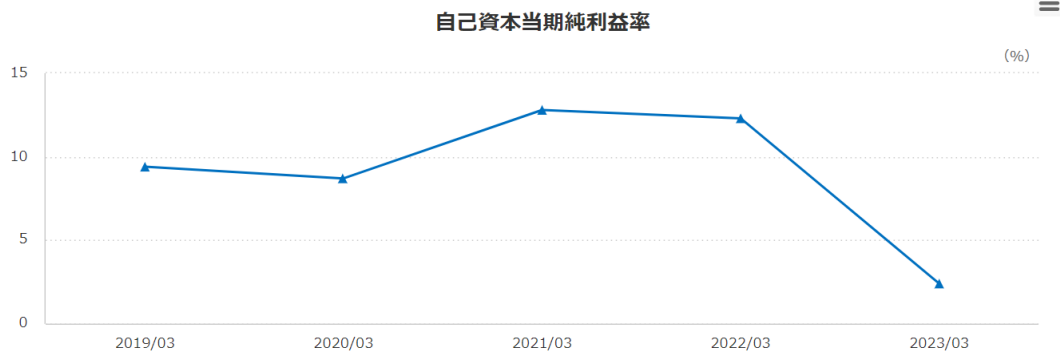


図2 過去5年間の自己資本当期純利益率・売上高営業利益率の推移

<https://corp.furukawadenchi.co.jp/ja/ir/finance/indicator.html> より引用

参考文献

- ・ ISS 助言方針
<file:///C:/Users/yumas/Downloads/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>
- ・ 古河電池>業績ハイライト
<https://corp.furukawadenchi.co.jp/ja/ir/finance/highlight.html>
- ・ 古河電池>株式の状況
<https://corp.furukawadenchi.co.jp/ja/ir/stock/shareholder.html>
- ・ 古河電池>セグメント情報
<https://corp.furukawadenchi.co.jp/ja/ir/finance/segment.html>
- ・ 古河電池>定期株主総会招集ご通知
https://corp.furukawadenchi.co.jp/ja/ir/news/auto_20230524580592/pdfFile.pdf

(以上、23/06/27 閲覧)